

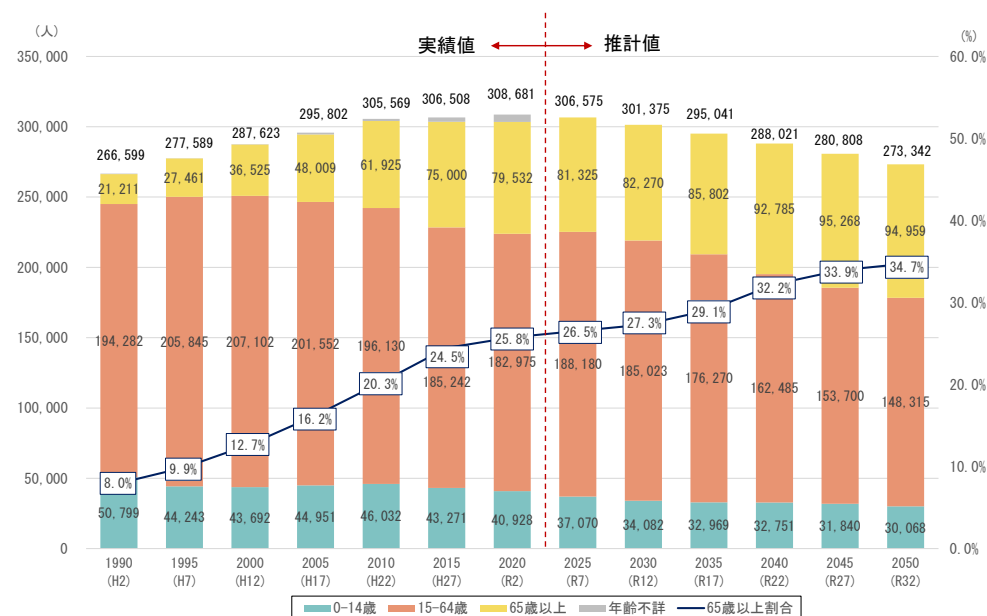
資料 1 - 3

# 春日井市 地域公共交通計画改定 について

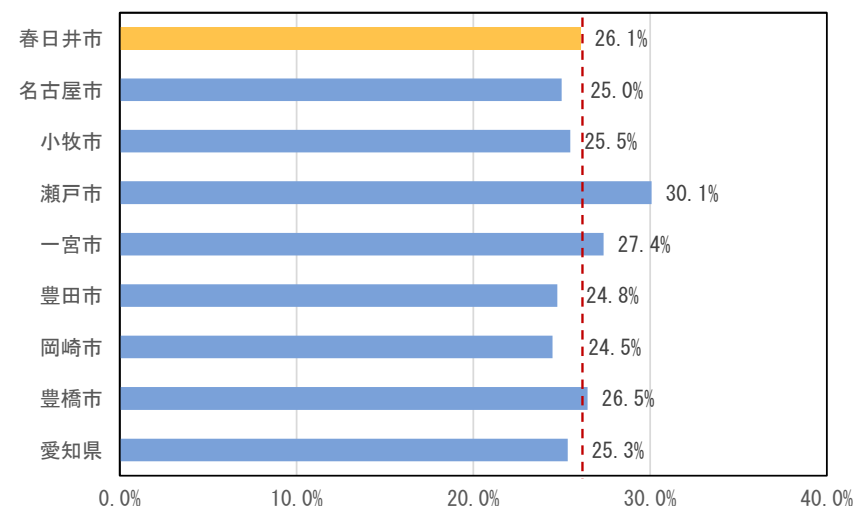
## (1) 人口と高齢化率

- 本市の人口は増加が続いており、国勢調査では2020年（令和2年）において308,681人です。今後は緩やかに減少することが見込まれます。
- 高齢化が進行しており、2020年の高齢化率は25.8%であり、県内の近隣市や中核市と比較すると概ね同等となっています。今後は高齢者人口が増加し続け、少子高齢化が一層進行することが見込まれます。

### ■人口の推移



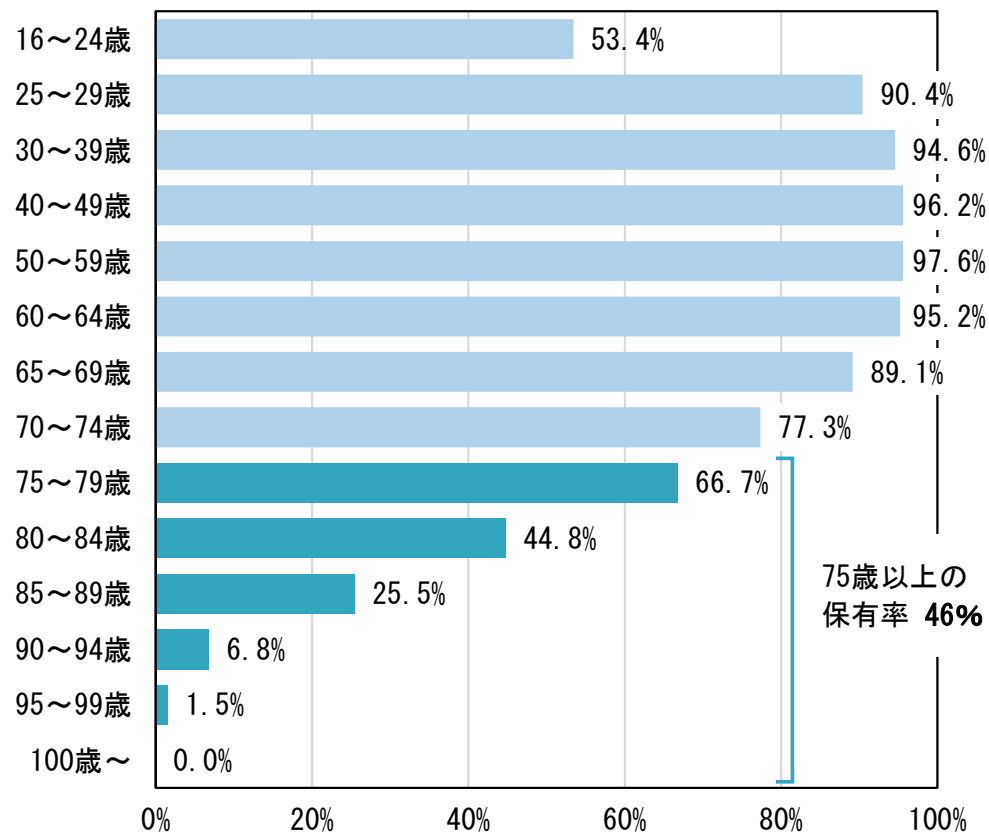
### ■県・近隣市等の65歳以上の高齢化率



## (2) 高齢者の免許保有率

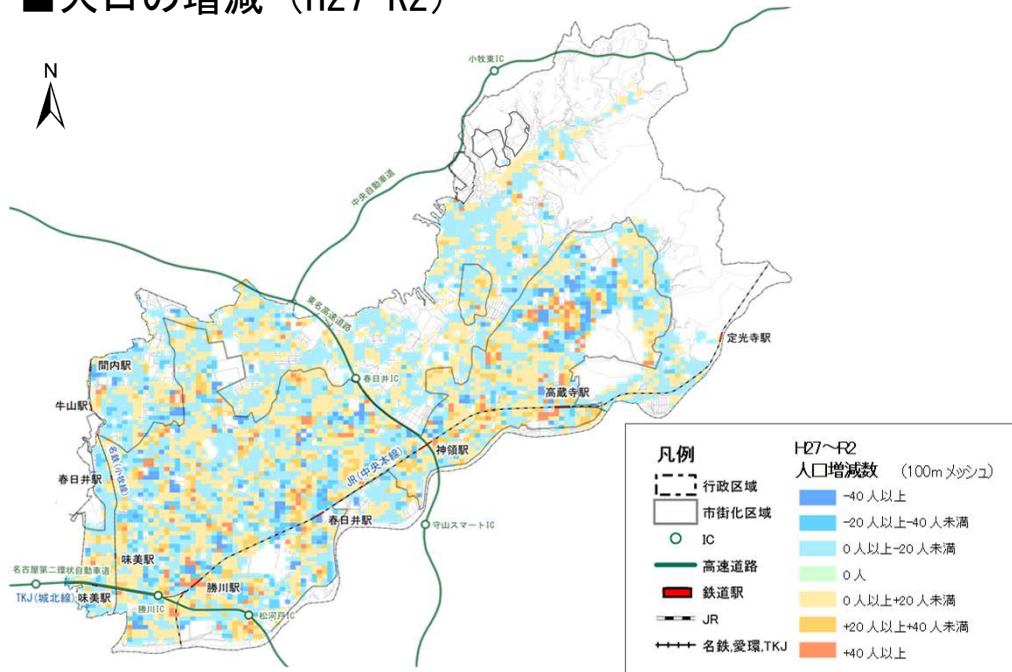
- 年齢別の運転免許保有率は、65歳以上では、高齢になるほど運転免許保有率が低下していきます。75歳以上の市民では、運転免許保有率は46%です。

■ 年齢別の免許保有率

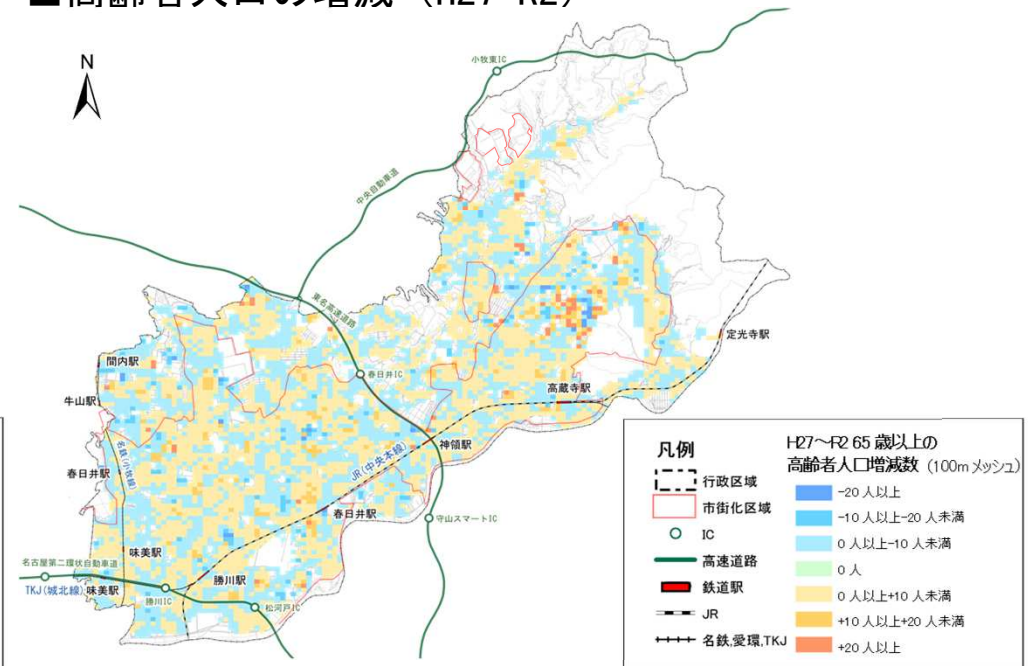


※運転免許保有率：免許保有者数を人口で除した算定値

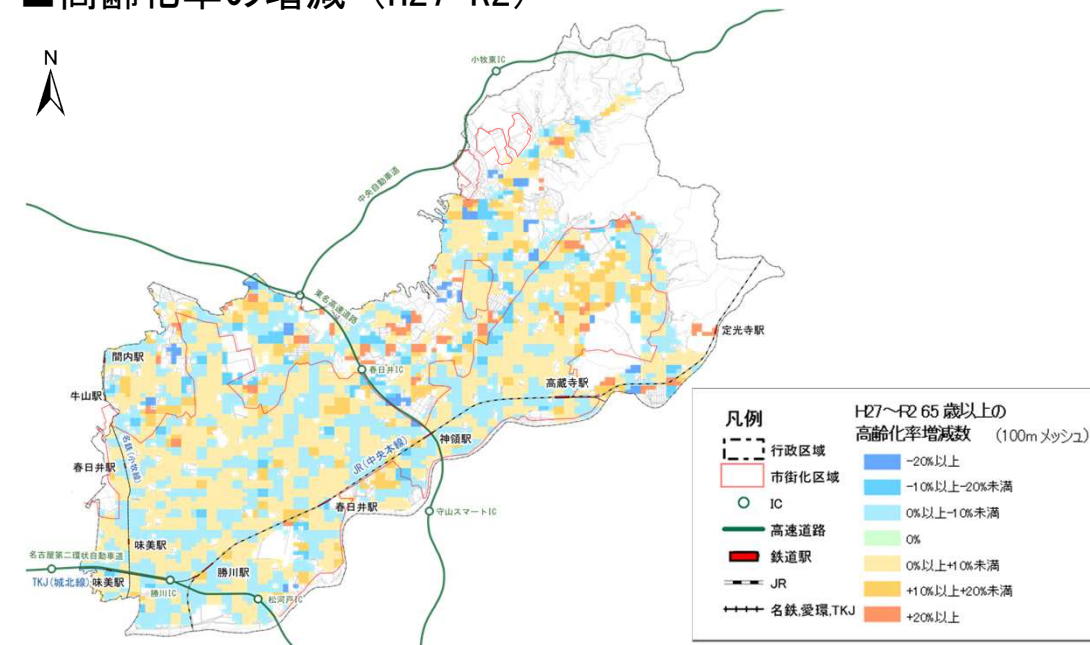
## ■人口の増減（H27-R2）



## ■高齢者人口の増減（H27-R2）



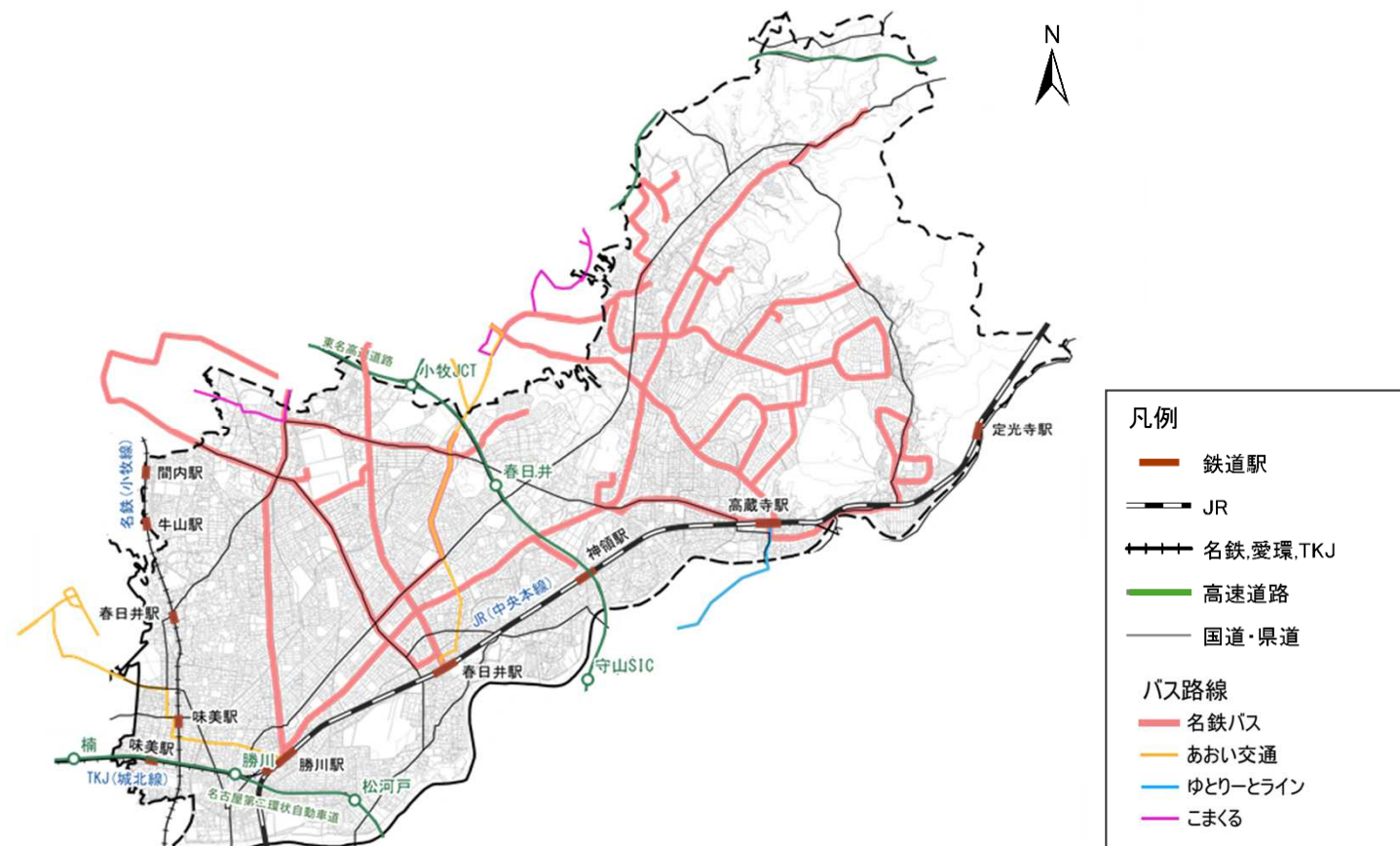
## ■高齢化率の増減（H27-R2）



- 高齢者人口の増減数をみますと、高蔵寺ニュータウン付近で特に増加傾向にあります。
- 高齢者率の増減をみますと、高蔵寺ニュータウン及び大泉寺町付近で増加傾向にあります。

### (1) 広域交通網

- JR中央本線が市域の南部を横断し、中部圏のターミナル駅である名古屋駅まで接続しています。
- 名鉄小牧線、TKJ（JR東海交通事業）城北線及び愛知環状鉄道が、周辺都市と本市の拠点地域を連絡しています。
- 路線バスが、JR勝川駅・JR春日井駅・JR高蔵寺駅と周辺市の拠点や県営名古屋空港を連絡しています。

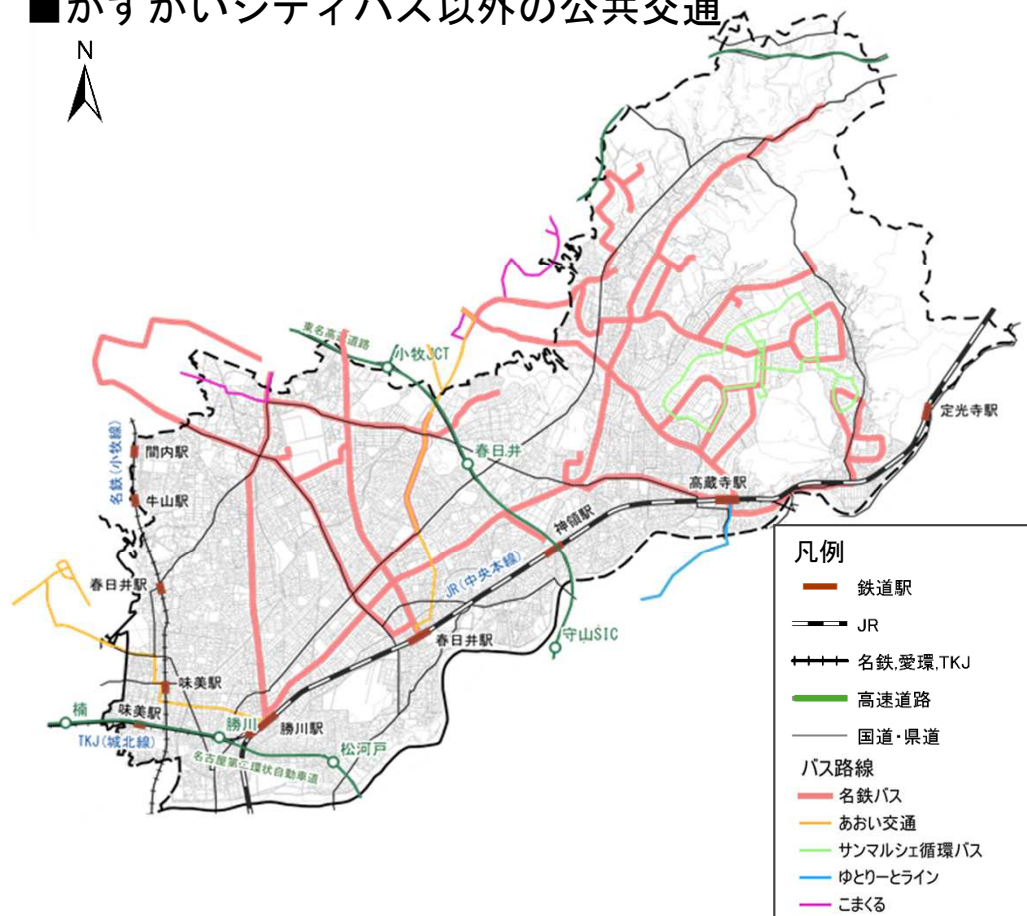




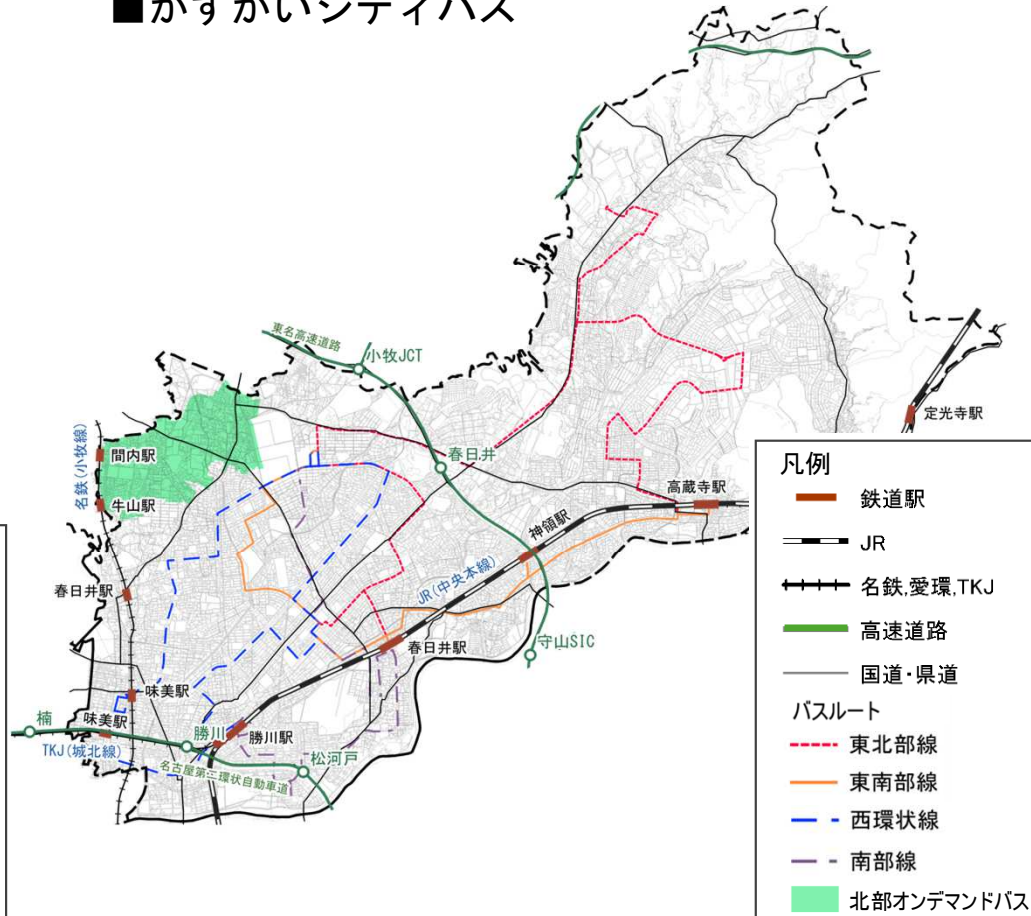
### (2) 公共交通の整備状況

- 名鉄バスが、ＪＲ勝川駅・ＪＲ春日井駅・ＪＲ高蔵寺駅と市内の主要な住宅地や施設、周辺市を連絡し、あおい交通がＪＲ春日井駅と小牧市、ＪＲ勝川駅と県営名古屋空港を連絡しています。
- 名古屋市交通局がＪＲ高蔵寺駅と名古屋市の大曽根駅を連絡しています。
- これらを補完する手段として、かすがいシティバスが４路線及び北部オンデマンドバスが整備されています。

■ かすがいシティバス以外の公共交通



■ かすがいシティバス



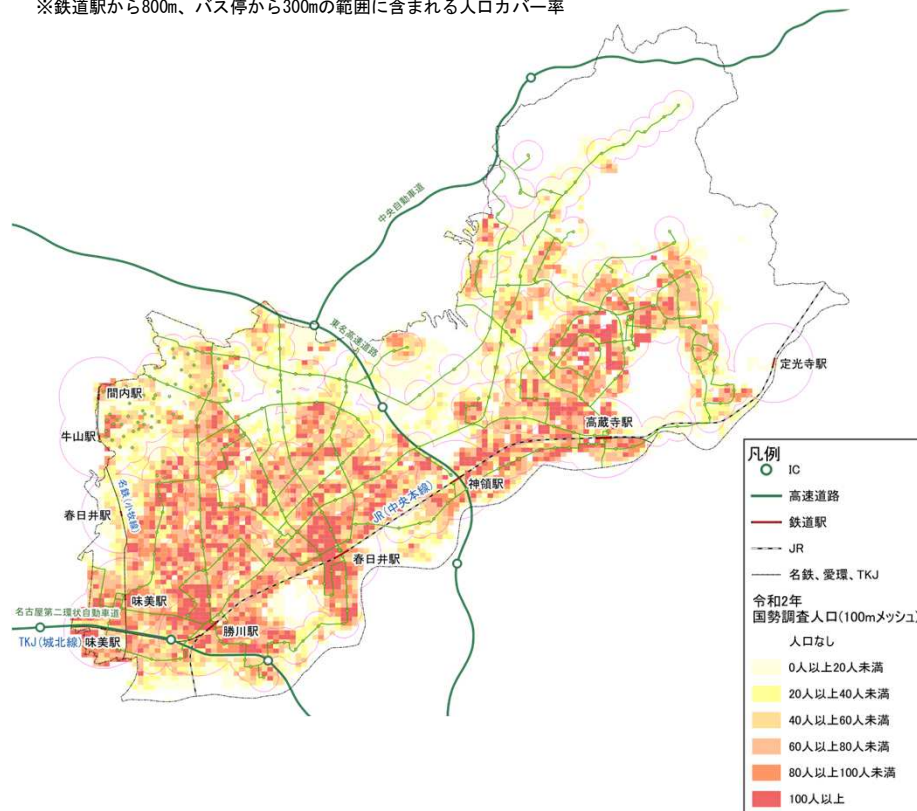
### (3) 公共交通の人口カバー状況

- 公共交通全路線の人口カバー率は95%となっており、概ねの人口をカバーしています。
- 高齢者のカバー率は88%と、総人口と比較して低くなっています。

#### ■ 総人口のカバー状況

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 公共交通全路線<br>人口カバー率 | 95% |
|-------------------|-----|

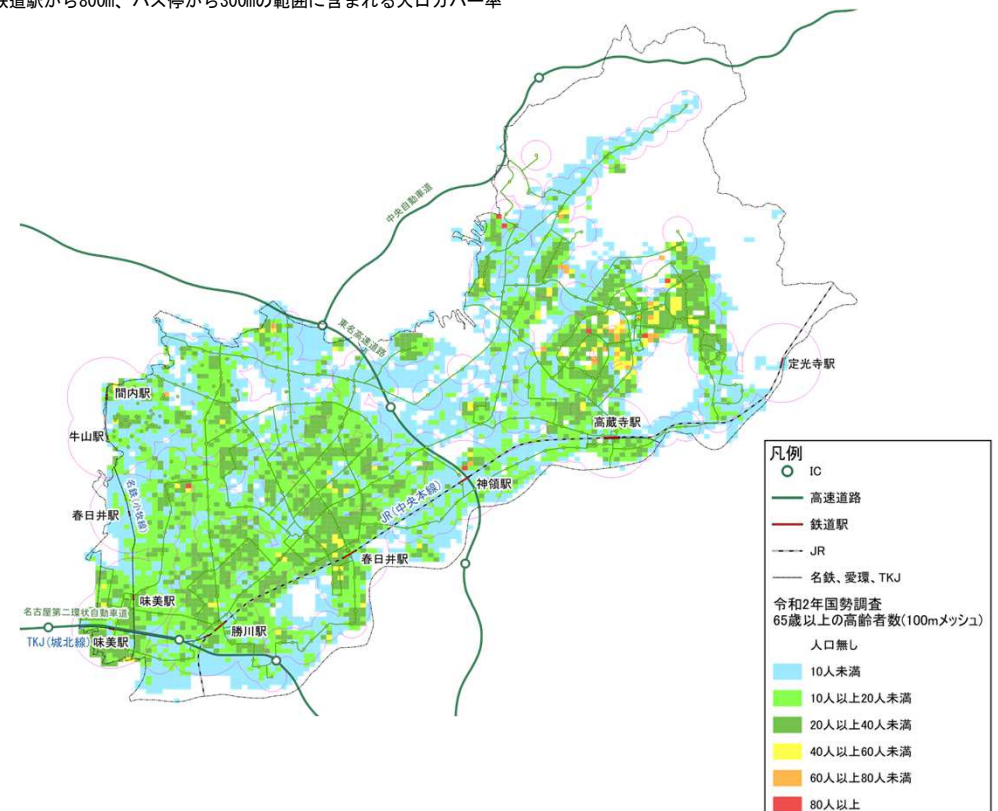
※鉄道駅から800m、バス停から300mの範囲に含まれる人口カバー率



#### ■ 高齢者（65歳以上）のカバー状況

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 公共交通全路線<br>高齢者人口カバー率 | 88% |
|----------------------|-----|

※鉄道駅から800m、バス停から300mの範囲に含まれる人口カバー率

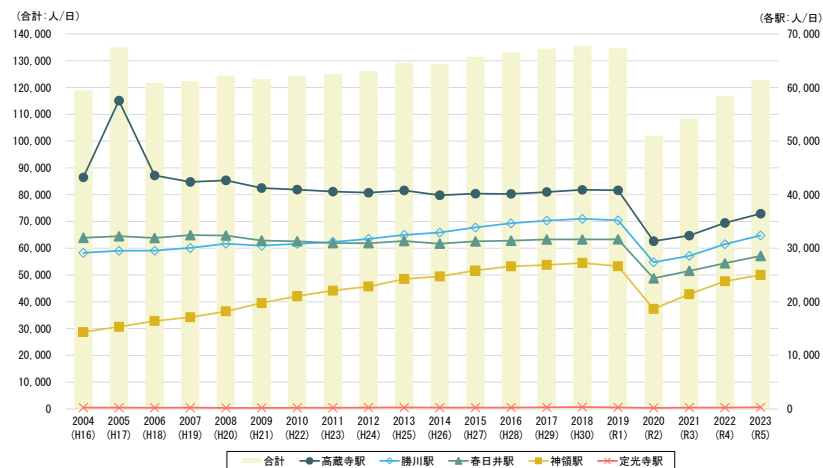


### (4) 利用者数の推移

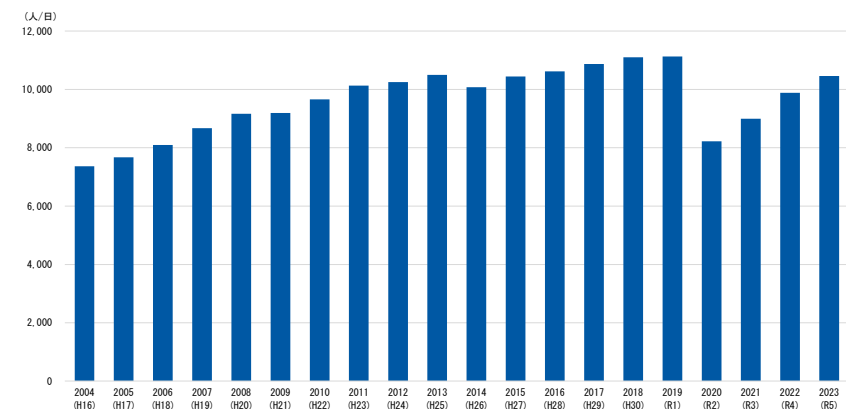
#### ① 鉄道

- 鉄道の乗降客数は、長期的に見て、J R中央本線、名鉄小牧線のすべての駅と愛知環状鉄道はコロナ禍によって2020年に減少し、その後増加しています。
- T K J 城北線は、味美駅では増加傾向である一方で、勝川駅は減少傾向です。

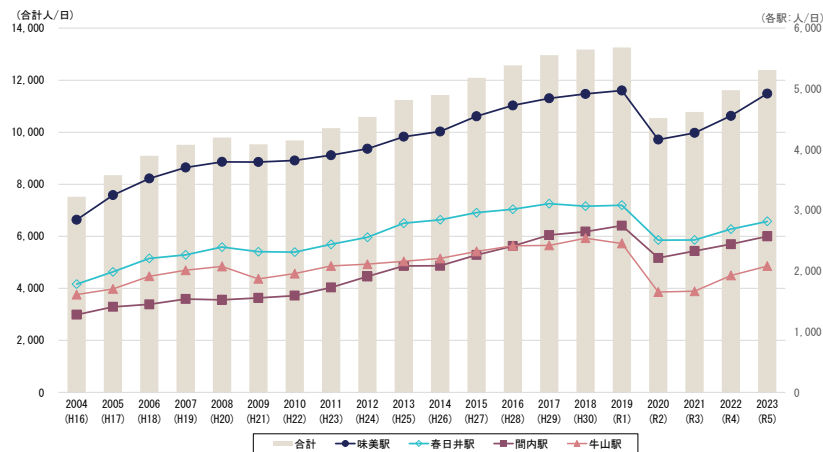
#### ■ J R 中央本線



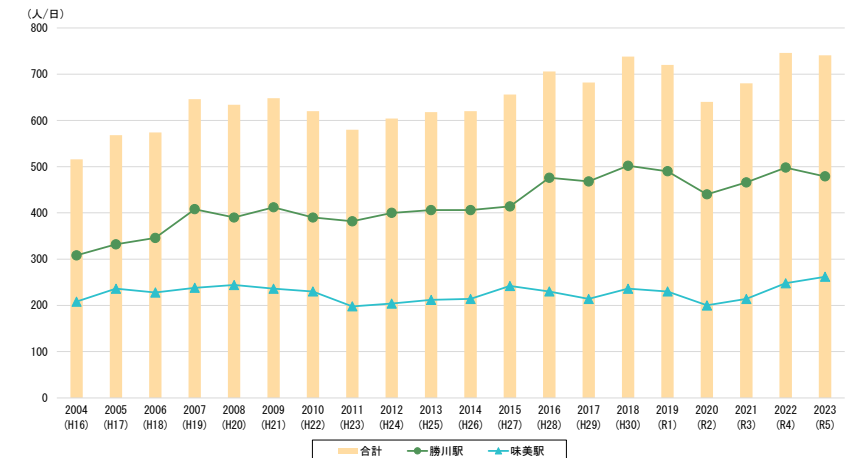
#### ■ 愛知環状鉄道（高蔵寺駅）



#### ■ 名鉄小牧線



#### ■ T K J （J R 東海交通事業）城北線

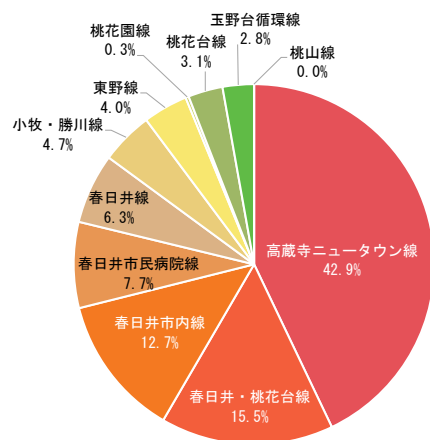
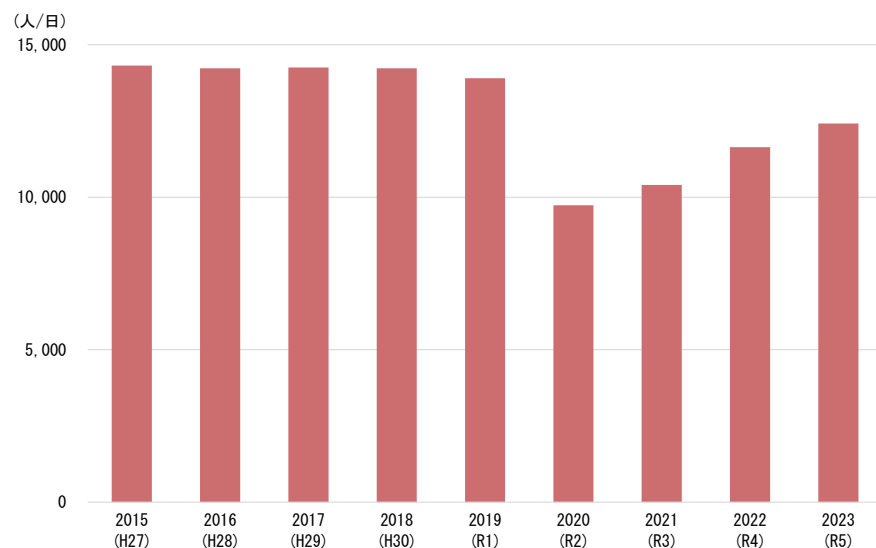




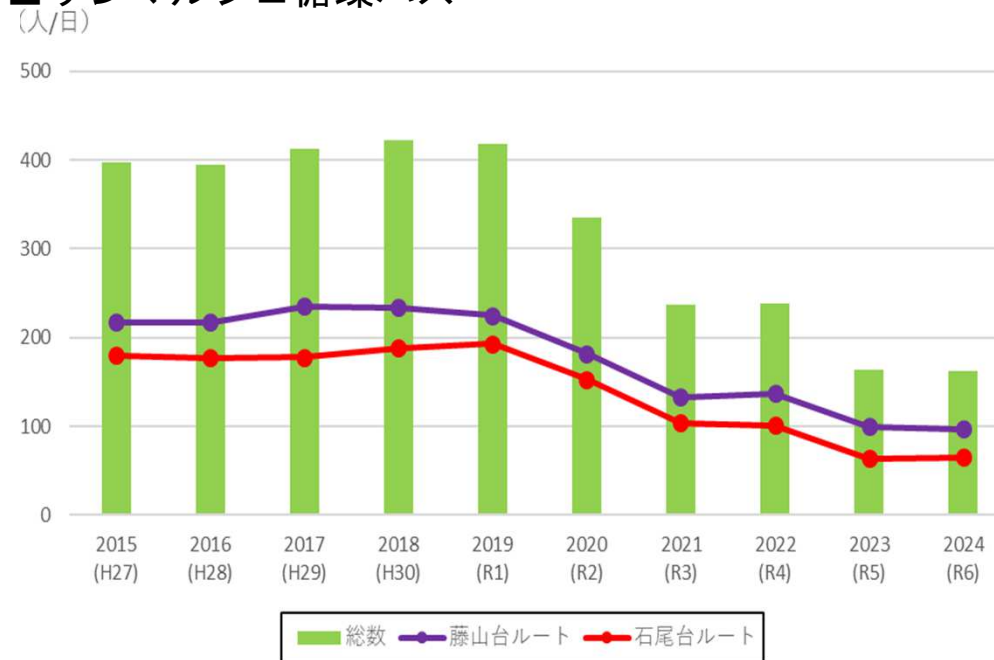
### ② - 1 バス（名鉄バス、サンマルシェ循環バス）

- 名鉄バスの日利用者数は、コロナ禍によって2020年(令和2年)に減少し、その後増加傾向となっています。
- サンマルシェ循環バスは、2022年(令和4年)に増加したものの、その後は減少傾向となっています。

#### ■名鉄バス



#### ■サンマルシェ循環バス

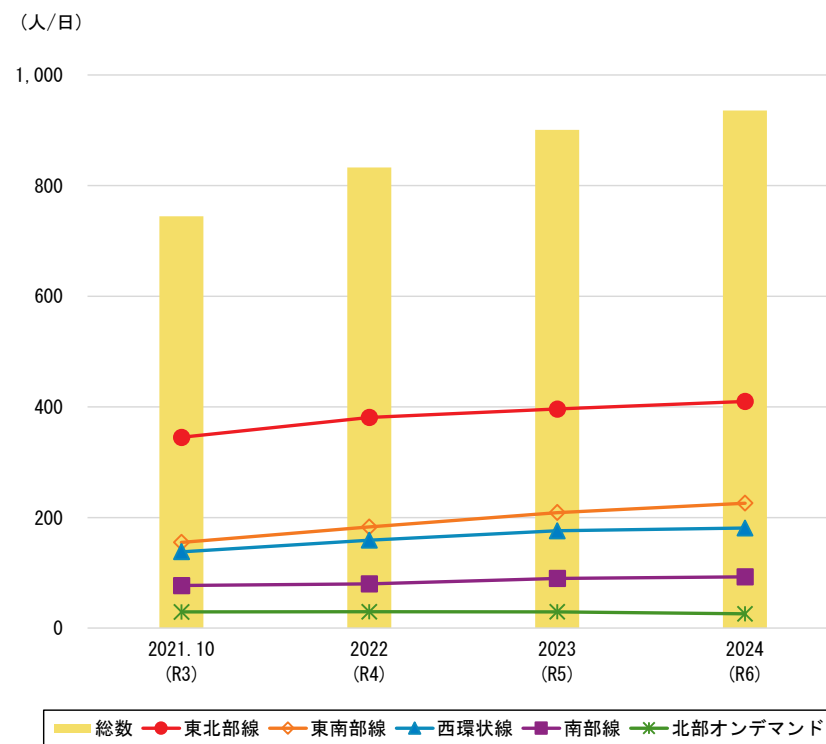
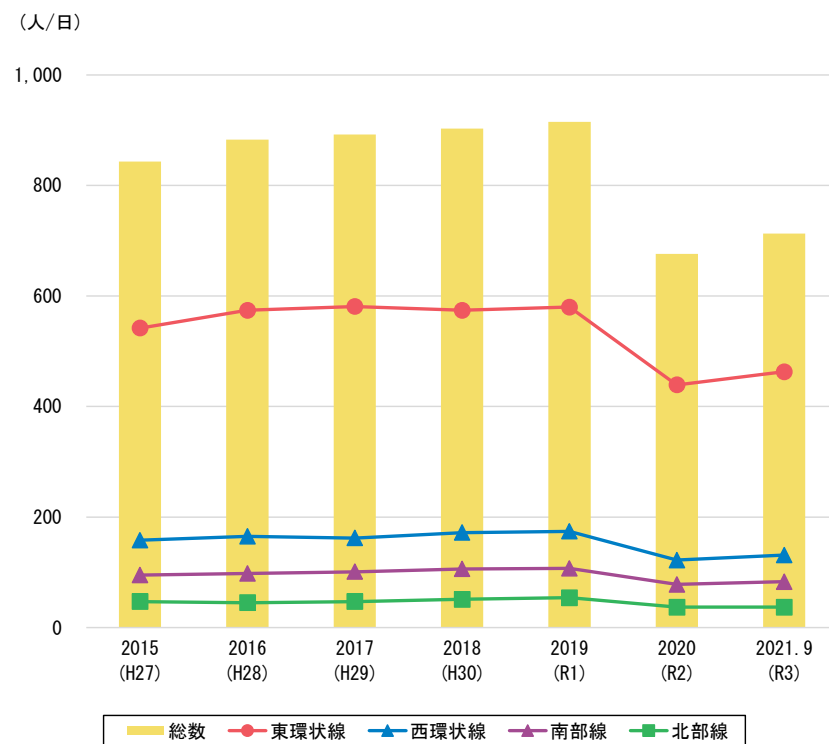


※令和3年から日曜運休各13便に減便  
 ※令和5年から各7便に減便

### ② - 2 バス（かすがいシティバス）

- かすがいシティバスの日利用者数は、増加傾向にあります。

#### ■ かすがいシティバス



### (5) かすがいシティバス乗降状況

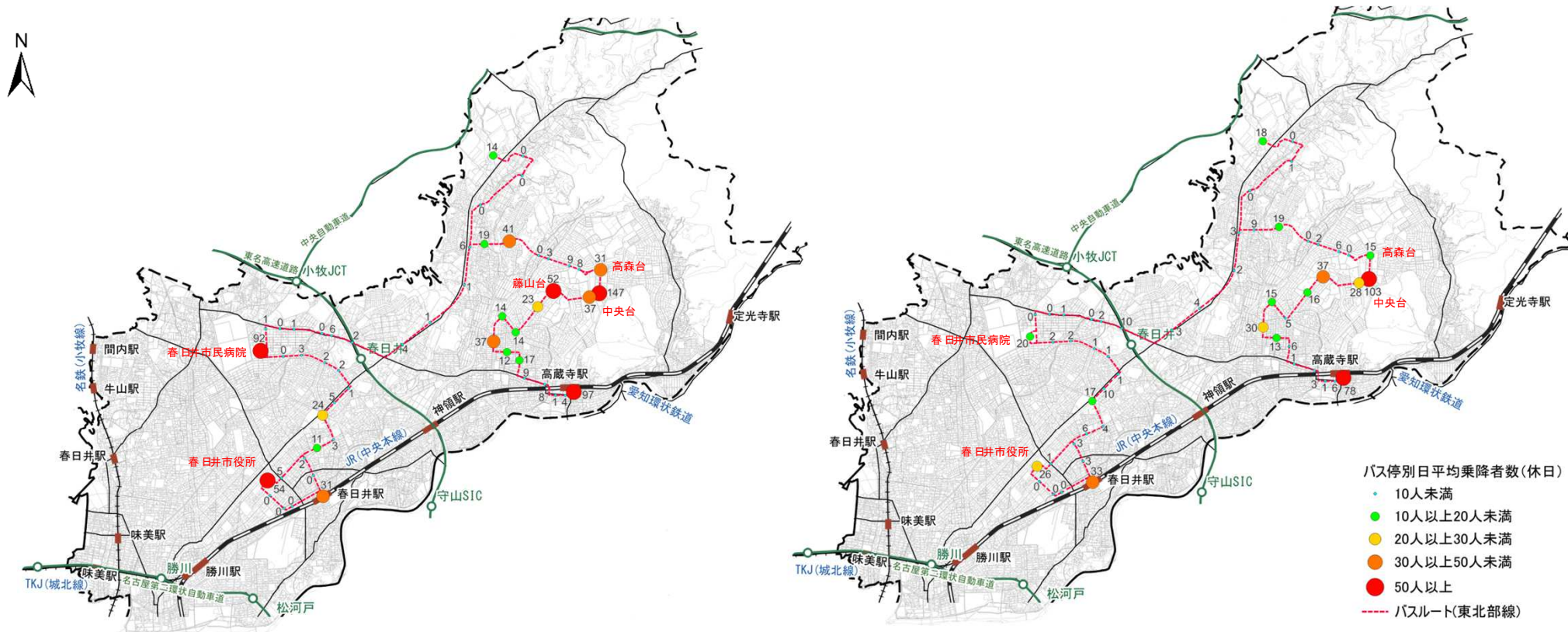
#### ① 東北部線

平日：高蔵寺ニュータウン内や、春日井市民病院及び市役所への利用が多い。

休日：春日井市民病院や市役所への利用が平日と比較し少ないものの、高蔵寺ニュータウン周辺の利用は平日と同様に多い。

■ 平日

■ 休日



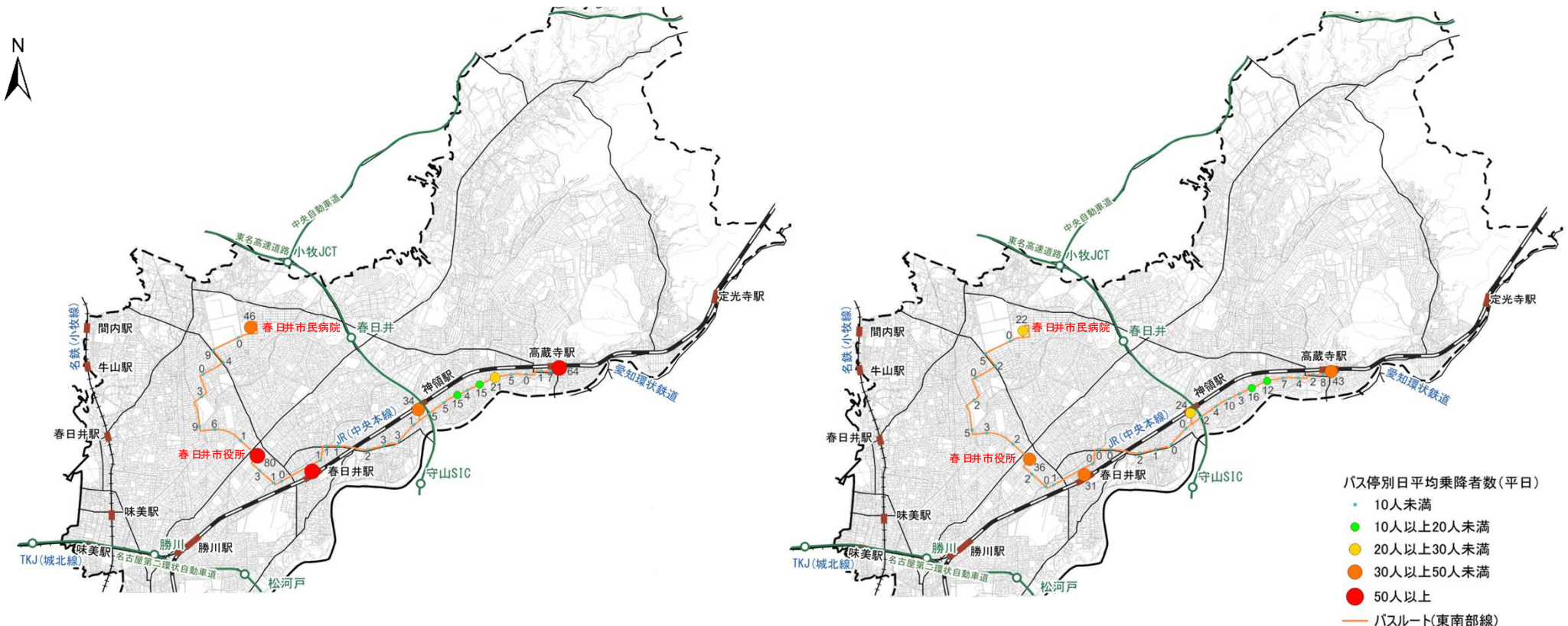
### ② 東南部線

平日：春日井市民病院や春日井市役所、ＪＲ高蔵寺駅、神領駅、春日井駅への利用が多い。

休日：平日と同様に、春日井市民病院や春日井市役所、ＪＲ高蔵寺駅、神領駅、春日井駅への利用が多い。

#### ■ 平日

#### ■ 休日



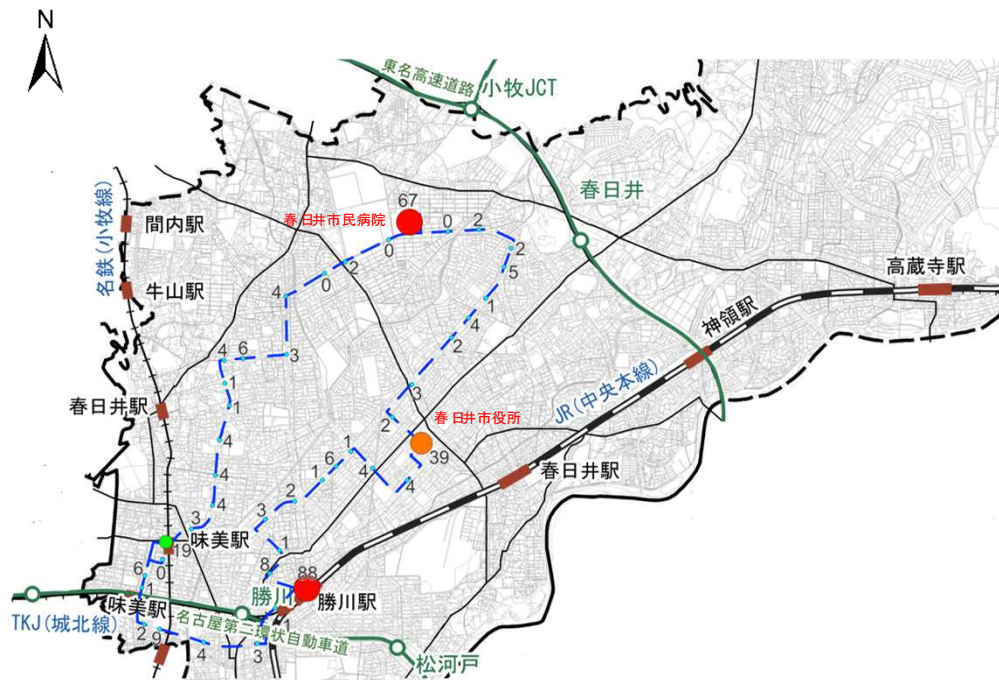


### ③西環状線

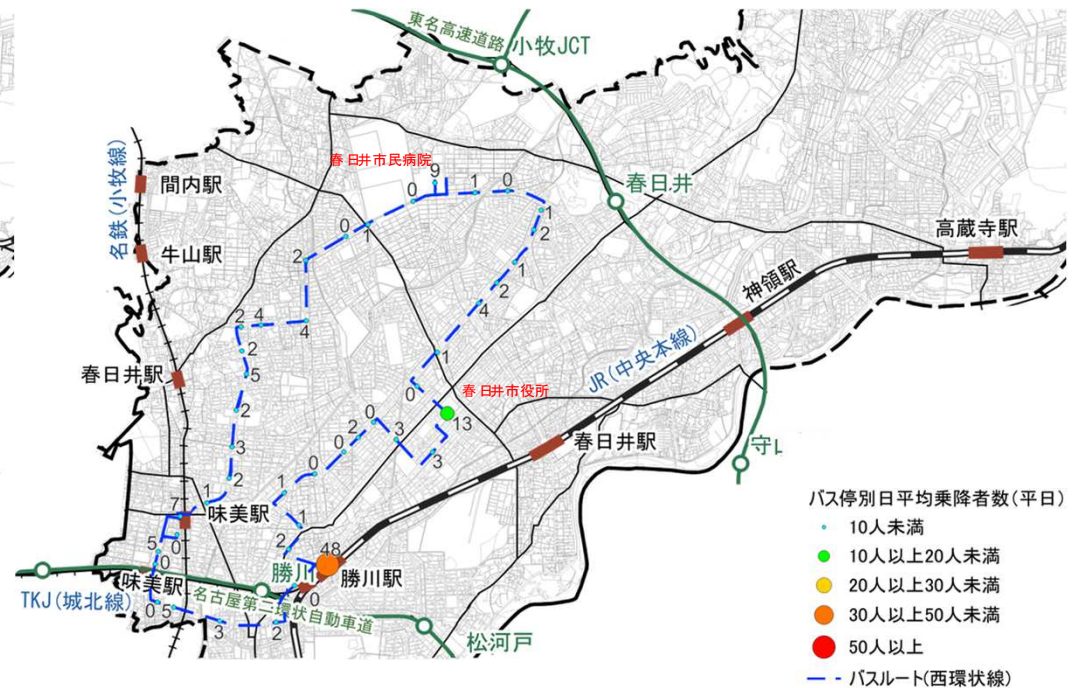
平日：春日井市民病院や春日井市役所、ＪＲ勝川駅への利用が多い。

休日：特にＪＲ勝川駅への利用が多い。また、乗降客が少ないバス停が多く見られる。

#### ■平日



#### ■休日



バス停別日平均乗降者数(平日)

- 10人未満
- 10人以上20人未満
- 20人以上30人未満
- 30人以上50人未満
- 50人以上

— バスルート(西環状線)

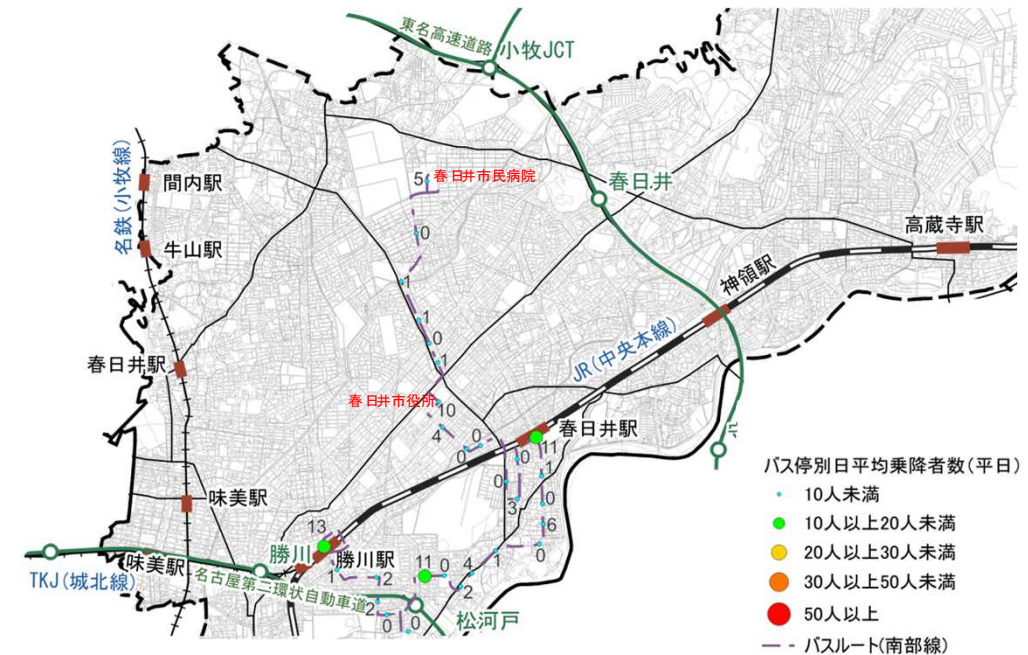
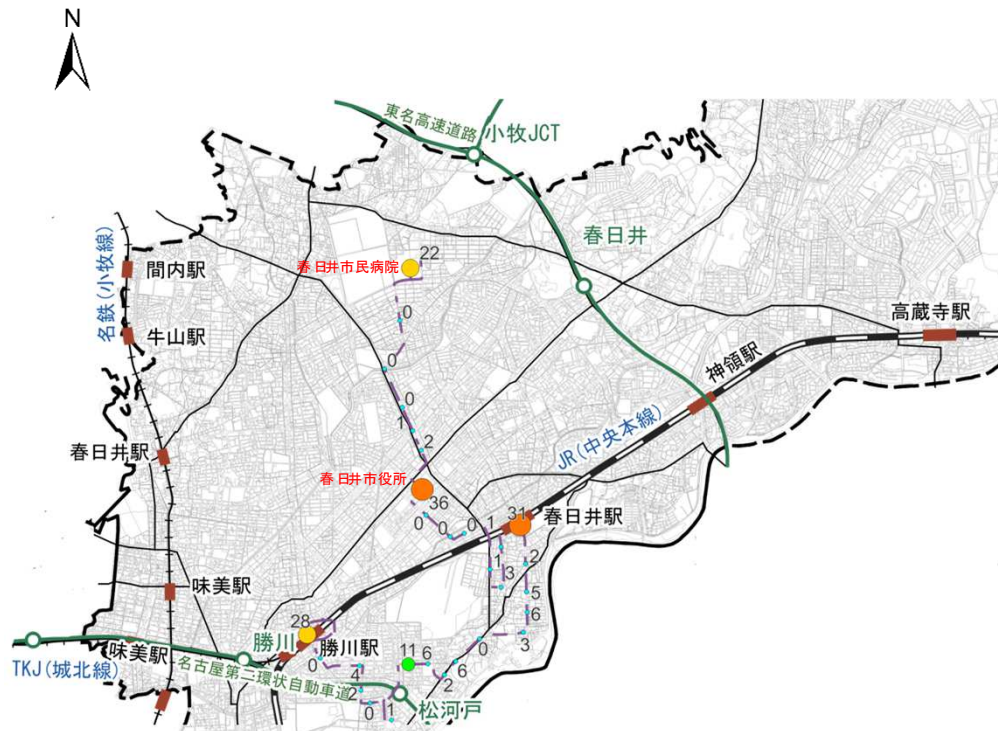
### ④南部線

平日：春日井市民病院や春日井市役所、ＪＲ勝川駅、春日井駅への利用が多い。

休日：平日に比べ少ない。

#### ■平日

#### ■休日



バス停別日平均乗降者数（平日）

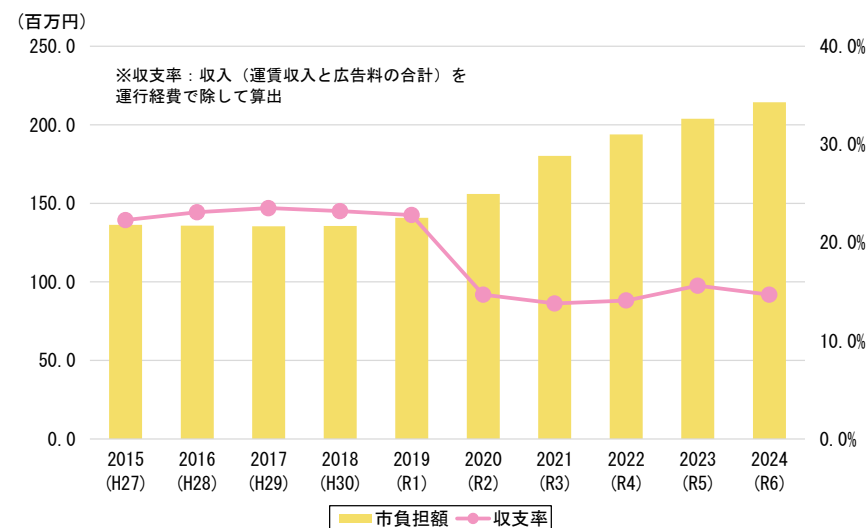
- 10人未満
- 10人以上20人未満
- 20人以上30人未満
- 30人以上50人未満
- 50人以上

--- バスルート(南部線)

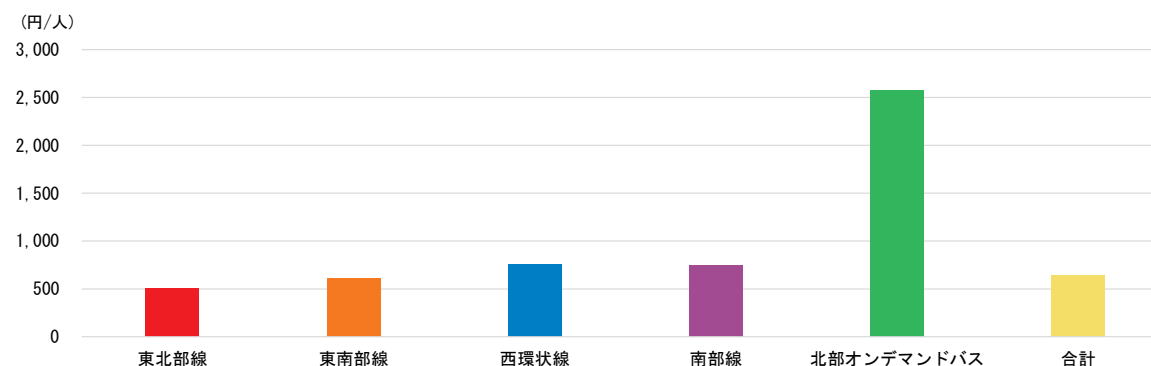
### (6) バスの収支の状況

- かすがいシティバスの市の負担金は、2018年(平成30年)度までは約135百万円と概ね横ばいで推移していますが、2020年(令和2年)以降は市の負担額が年々増加し、2024年(令和6年)には、約214百万円となっています。
- 路線別の利用者1人当たりの市負担額は北部オンデマンドバスが最も多く、約2,580円/人を負担しています。

#### ■ かすがいシティバスの市の負担金と収支率の推移



#### ■ 路線別の利用者1人当たりの市負担額



#### (1) 調査の概要

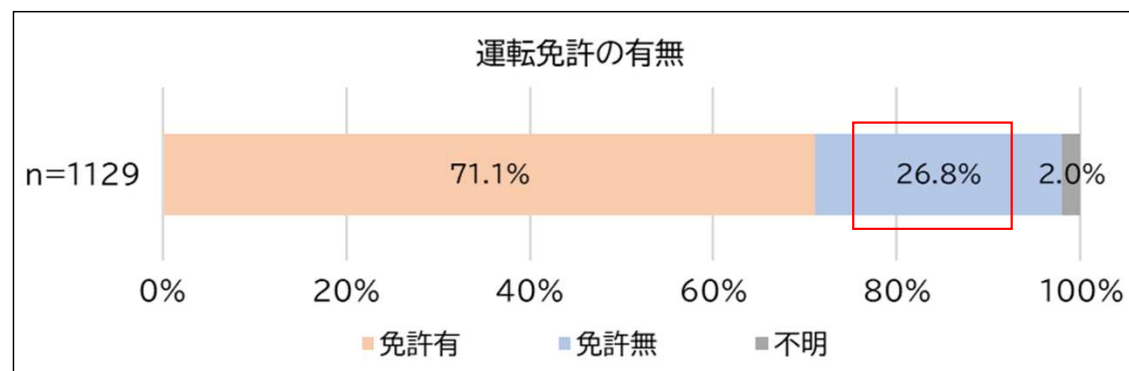
- 市内公共交通の利用実態やニーズなどを把握するため、2025年（令和7年）3月にアンケート調査を実施しました。

| 方法       | 対象                                                           |
|----------|--------------------------------------------------------------|
| 郵送調査（市民） | 配布数：2,000人<br>（30歳～64歳500人、65歳以上1,500人、男女比1：1）<br>回収数：1,129人 |

#### (2) アンケート調査結果

##### ① 免許保有状況

免許を保有していない人：26.8%

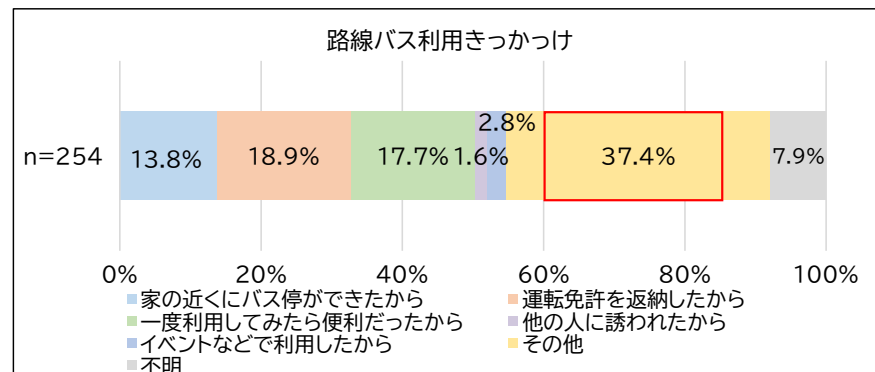




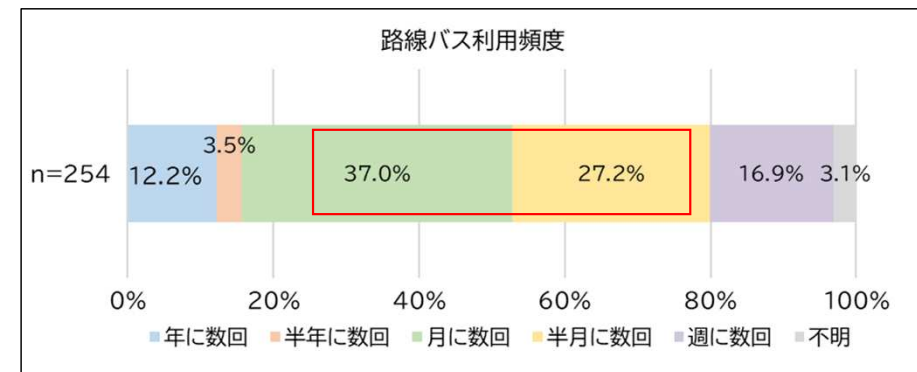
## ②バス利用者

- 路線バス利用のきっかけとしては、「その他」が多く、内容としては通院や通勤・仕事と回答しています。次いで、「運転免許を返納したから」が多くなっています。
- 最寄りバス停までの希望する移動手段としては、「徒歩や自転車」が最も多くなっています。
- 利用頻度は、「月に数回」が最も多く、次いで「半月に数回」となっています。
- 路線バスの利用者としては、全体では22.5%となっている中、75歳以上の高齢者は27.9%と高くなっています。

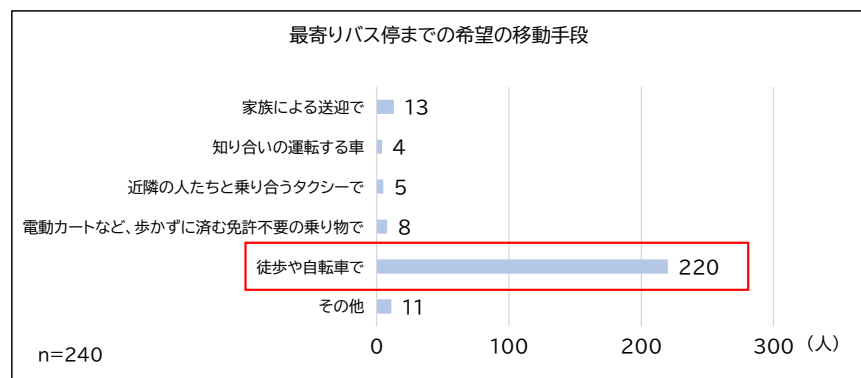
### ■路線バス利用きっかけ



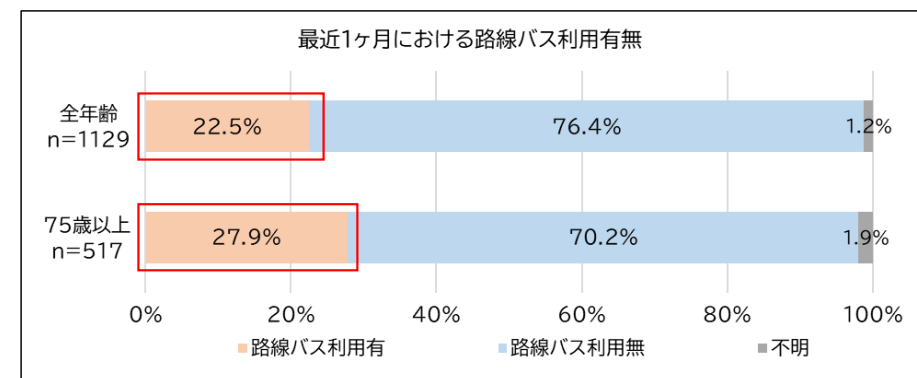
### ■路線バス利用頻度



### ■最寄りバス停までの希望の移動手段

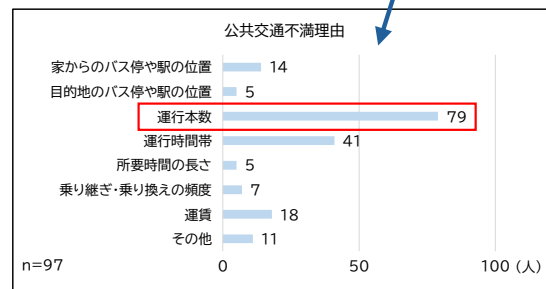
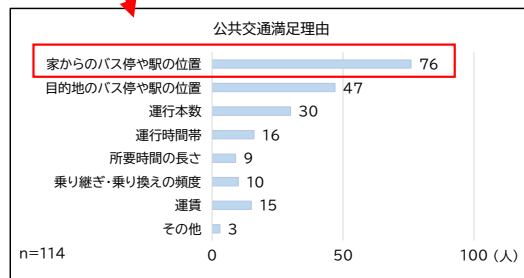
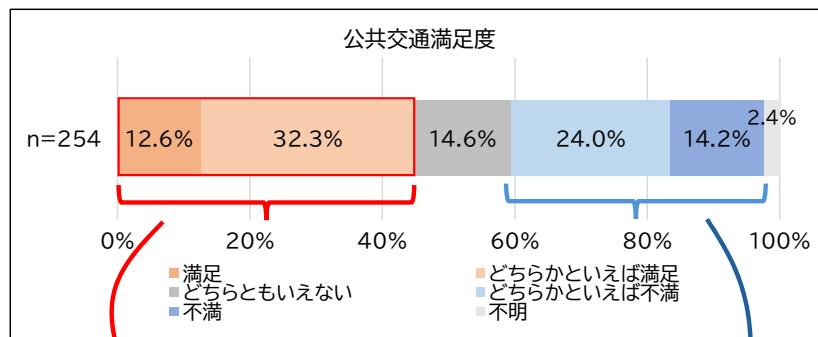


### ■最近1ヶ月における路線バス利用有無

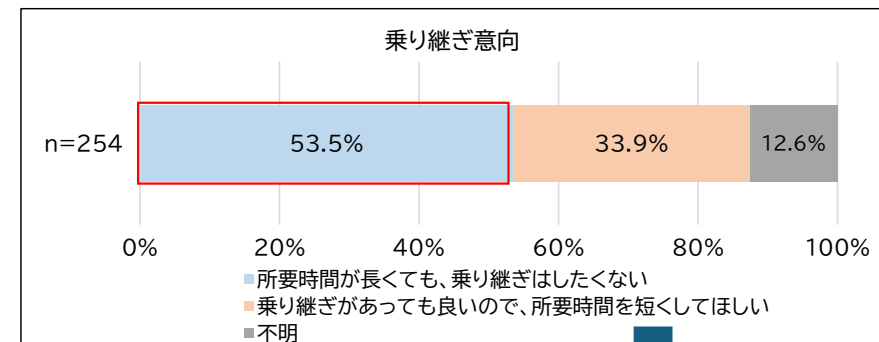


- 公共交通の満足度は、「満足」と「どちらかといえば満足」を足すと45%となっています。満足の理由としては、「バス停や駅の位置」となっており、不満の理由としては、「運行本数」となっています。
- 「乗り継ぎをはしたくない」と回答した人は半数を超えており、乗り継ぎ意向がある人も最大回数として「1回」と回答した人が半数を超えています。

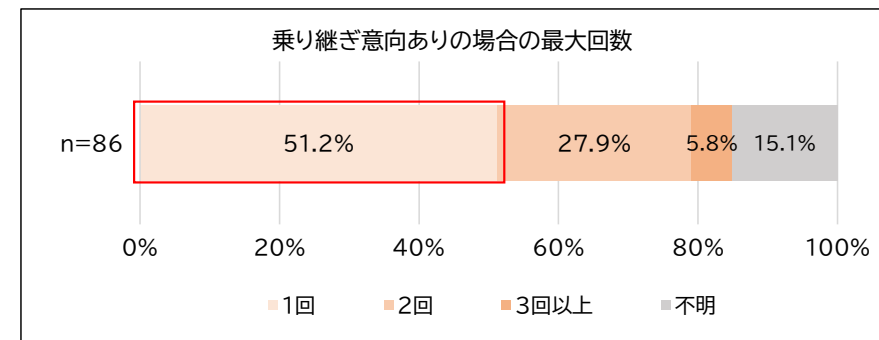
#### ■公共交通満足度



#### ■乗り継ぎ意向



#### ■乗り継ぎ意向ありの場合の最大回数



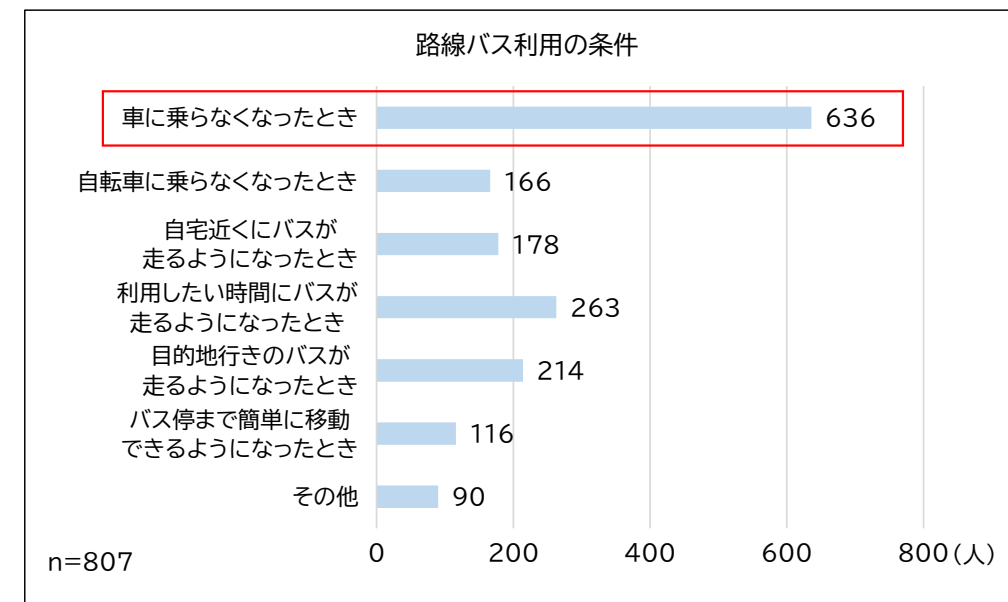
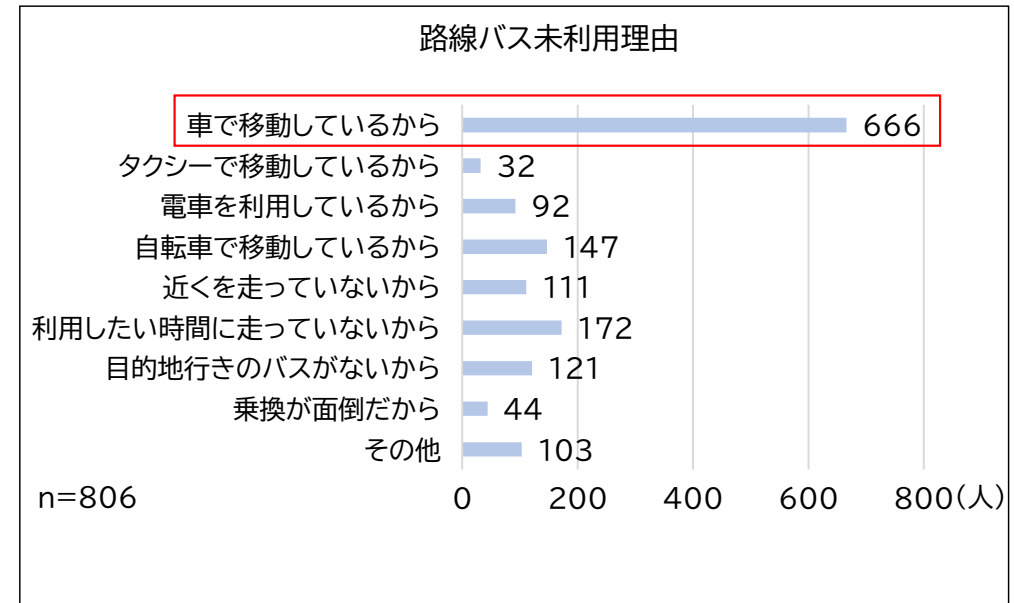
#### ③バス未利用者

##### ■未利用の理由：

「車利用」が最も多く、次いで、「利用したい時間に走っていないから」となっています。

##### ■利用する条件：

「車に乗らなくなったとき」が最も多くなっています。



課題 1 持続可能な公共交通としての運行維持

課題 2 人口密度の高い住宅地の公共交通カバー圏域の拡大

課題 3 地域に即した移動手段の確保

課題 4 2024 問題などによる運転手の確保

課題 5 公共交通の利用促進

課題 6 多様化するライフスタイルへの対応検討